



「第32回 国公立大学情報システム研究会総会」

(2024年3月11日開催)
総会議事・開催後アンケート結果 (サマリ)

2024年3月
IS研事務局

第32回 国公立大学情報システム研究会総会プログラム

内 容	(発表者名敬称略)
開会挨拶	IS研 会長 横浜国立大学 学長特任補佐 徐 浩源
議 事	IS研 事務局
【論文①】「サンドボックスを考慮した不審メール対応訓練の実践」	鹿児島大学 情報基盤統括センター 専門職員 相羽 俊生
【論文②】「Lean思考を学ぶ講義における大学業務システムの開発の試み」	島根大学 研究・学術情報本部 総合情報処理センター 講師 石原 由紀夫
【北海道ブロックからの活動報告】	北見工業大学 情報処理センター長 升井 洋志
【東北・関東ブロックからの活動報告】	山形大学 情報ネットワークセンター 教授 田島靖久
【北陸ブロックからの活動報告】	福井大学 総合情報処理基盤センター 吉川雄也
【東海ブロックからの活動報告】	名古屋大学 情報基盤センター 教授 戸田智基
【近畿ブロックからの活動報告】	大阪公立大学 情報基盤副センター長 宮本貴朗
【九州ブロックからの活動報告】	宮崎大学 情報基盤センター 副センター長 青木 謙二
閉会挨拶	IS研議長 大阪公立大学 情報基盤副センター長 宮本貴朗

- ◆日時：2024年3月11日（月） 14:00~17:00
- ◆参加者数：30名（大学関係者のみ）※その他（富士通Japan株式会社）：35名
- ◆参加大学

大分大学（3名）・大阪教育大学（1名）・大阪公立大学大学院（1名）・鹿児島大学（3名）・金沢大学（3名）・鹿屋体育大学（1名）
 北見工業大学（1名）・九州大学（2名）・島根大学（1名）・名古屋大学（1名）・一橋大学（1名）・兵庫県立大学（2名）・福井大学（3名）
 北陸先端科学技術大学院大学（1名）・三重大学（1名）・宮崎大学（2名）・山形大学（1名）・横浜国立大学（1名）

議事

1. 議事において、下記議案が参加された会員より了承を得て可決された。

【ご報告】 2022年度 決算報告

－会計監査：吉川様より監査実施済

【1号議案】 2023年度 決算報告(仮)

【2号議案】 2024年度 予算(案)

2. 発表について

論文（2件）、各ブロックからの事例発表（6件）

開催後アンケート結果

1 アンケート概要

2 回答結果

アンケート概要

目的

- ①参加のきっかけ、満足度などを収集し、総会の改善を図る
- ②参加大学の状況・重点テーマ等を収集し、IS研の今後の活動の活性化を図る

実施期間

2024年3月11日（月）～ 2024年3月18日（月）

対象者

本総会参加申し込み者
（IS研会員・その他大学関係者）

方法

記名方式による調査、クアルトリクスアンケート基盤のアンケート機能

アンケート回答状況

◆ 回答数／対象者数：21／30（大学関係者のみ）

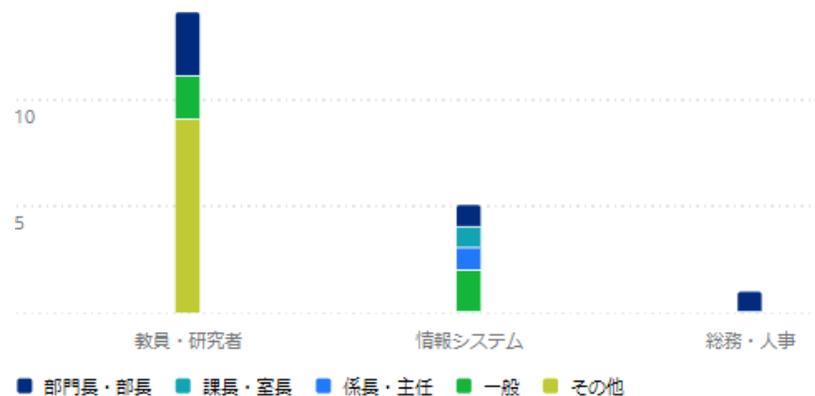
◆ 回答率：70.0%

◆ 回答された大学・学校名

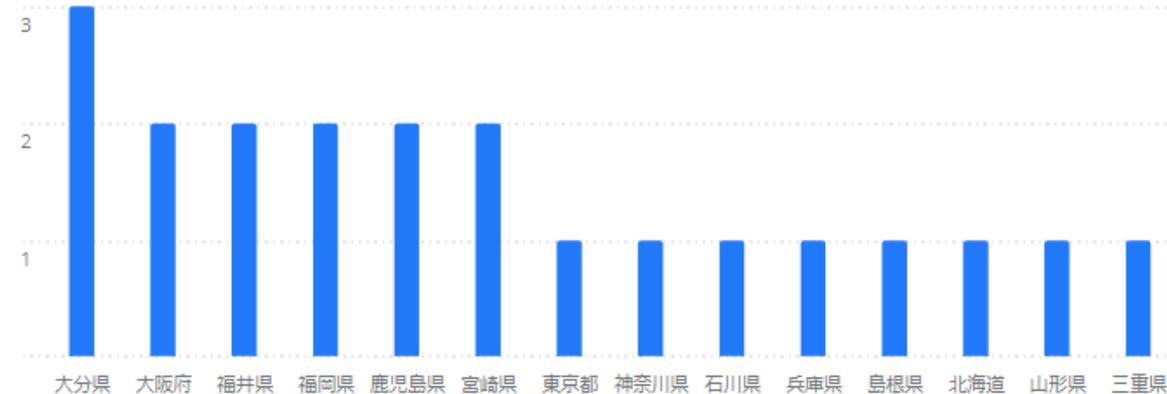
大阪教育大学	大阪公立大学	大分大学(3)	鹿児島大学(2)	北見工業大学
九州大学(2)	島根大学	一橋大学	兵庫県立大学	福井大学(2)
北陸先端科学技術大学院大学		宮崎大学(2)	三重大学	山形大学
横浜国立大学				

アンケート回答者属性

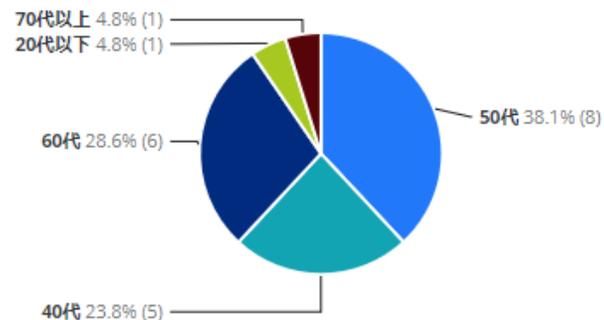
■ 担当業務と役職



■ 都道府県



■ 年齢層



アンケート設問 (1/2)

『各発表からの成果・今後の期待等』に関する設問1～3

1. 有益または参考になった発表を教えてください。
2. 本日の総会の発表で得られた成果(疑問や課題等含めて)をお書きください。
3. 貴学のシステムについてベンダーに期待されることがありましたらお書きください。

『大学の重要課題』に関する設問4～5

4. 以下のテーマについて、貴学での重要性・検討の優先度を教えてください
 - 学修成果が見える化し、継続的な成長を促すことができる学生支援サービス
 - 時間と場所を選ばない学修環境（オンライン・オンデマンドやハイフレックスへの対応）
 - リモートによる学び方・働き方改革
 - 入試手続きのWeb化による入試業務負荷の軽減
 - 学生や保護者からの問い合わせ対応の自動化
 - 情報基盤サービスのクラウドシフトによる管理業務からの解放
5. 4.のテーマ以外に貴学で重要なテーマ・検討の優先度が高いテーマがありましたらお書きください。

アンケート設問 (2/2)

『総会の参加目的・満足度』に関する設問6~9

6. 今回の総会に参加した目的を教えてください。
7. 本日のイベント全体の満足度を教えてください。
8. 満足度評価の理由を教えてください。
9. 総会の以下の項目について、それぞれの満足度について教えてください。
(各ブロックからの事例発表 / 論文発表 / 時間配分 / 当日の運営)

『IS研への期待・意見』に関する設問10

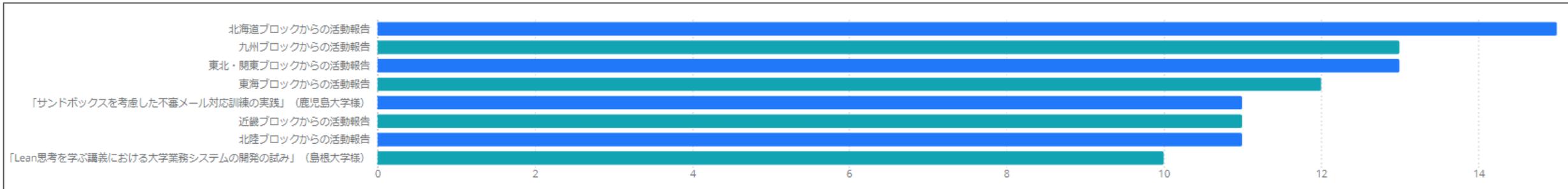
10. IS研について、「こういう風になると良い」「もう少しここをこうして欲しい」等のご意見ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

アンケート回答 (1/7)

『各発表からの成果・今後の期待等』に関する設問1～3

設問1

有益または参考になった発表を教えてください。



設問2

本日の総会の発表で得られた成果(疑問や課題等含めて)をお書きください。

- 他大学センターの現況について、色々と知見が得られました。
- 大学の情報基盤は、新しい技術の発展によってその役割を考え直す必要になるのではないかと思います。今後はこのような面についてのディスカッションを増やしていけたらよいと思います。
- 無線LANの参考にことなど参考になった。
- 他大学の現成が少しわかった。
- 研究発表はどちらも参考になる内容だった。活動報告は概要になってしまうので物足りない所はあるものの各地の取り組みなどがある程度聞いて興味深かった。

アンケート回答 (2/7)

設問3

貴学のシステムについてベンダーに期待されることがありましたらお書きください。

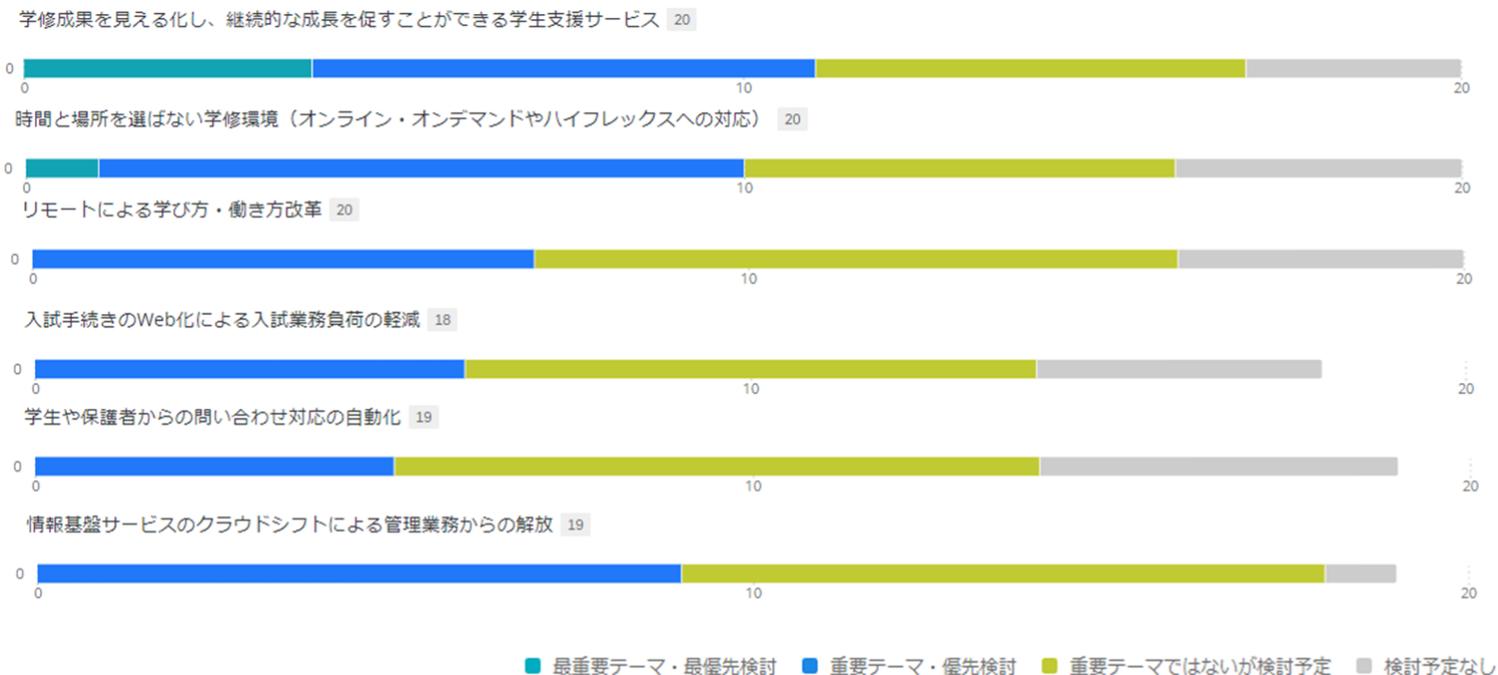
- 予算と性能のバランスを取るのが、年々難しくなっていますので、柔軟な提案をお願いします。
- ぜひ、最先端の I C T 技術の利活用について、大学と一緒に考えてほしいです。
- 信頼

アンケート回答 (3/7)

『大学の重要課題』に関する設問4~5

設問4

以下のテーマについて、貴学での重要性・検討の優先度を教えてください。



設問5

上記以外で貴学で重要なテーマ・検討の優先度が高いテーマがありましたらお書きください。

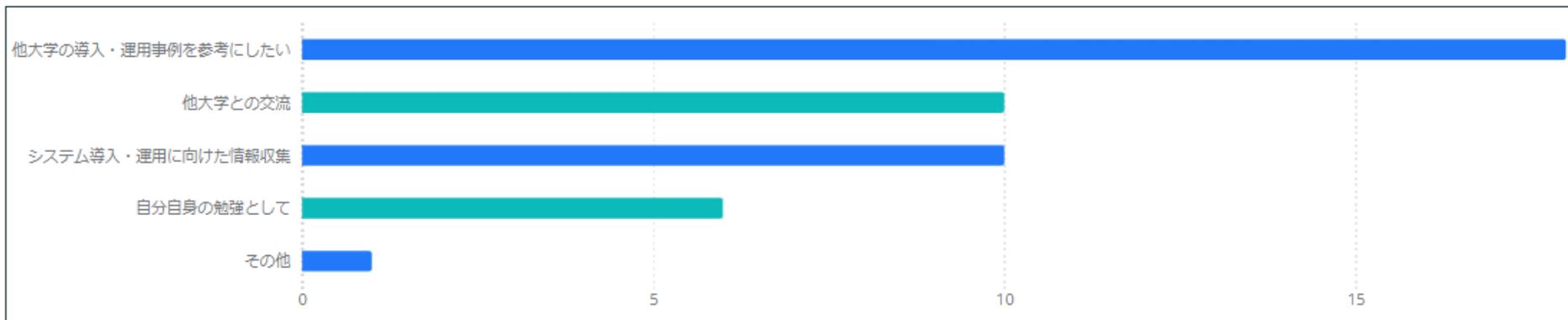
- 教育研究環境としての大型並列計算機
- 今後のビジョンを検討すること

アンケート回答 (4/7)

『総会の参加目的・満足度』に関する設問6~9

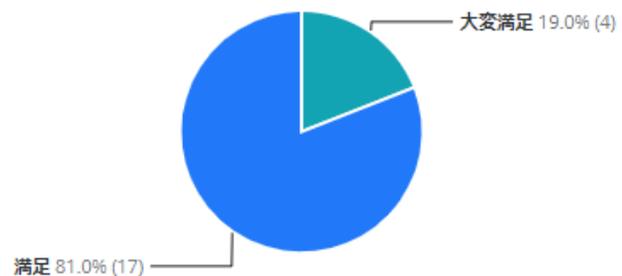
設問6

参加の目的



設問7

全体としての満足度



アンケート回答 (5/7)

設問 8

全体満足度評価の理由

ポジティブ
コメント

■他大学の情報が得られた

- 報告を聞いて、他大学の様子がわかるから
- 他大学の状況を知ることができたから。
- 他大学の情報を知ることができたので
- 他大学の知見にふれることができた

■情報が得られた

- 情報が得られたので
- メール訓練への対応や eduroam など本学でも参考にしたい内容がいろいろあったため。
- 全国の動向が見れた。
- 大変興味深い研究発表でした。

■研究発表が少ない

- もうちょっと、研究発表が多いといいかと思えます。

■対面参加者が少ない

- やはり、対面での交流が暫くできませんでしたので、今後はより多くの大学が会場参加が増えればと思います。
- もう少し対面での参加があるといい。
- 少なくとも発表者に対面でご参加で、懇親会でお話が出来ればよかった。

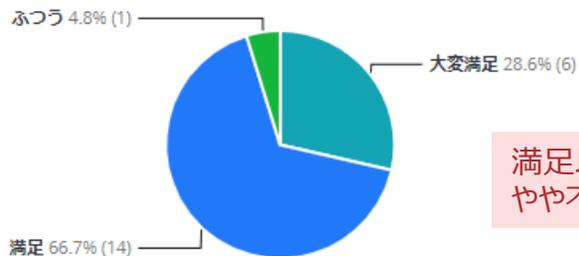
ネガティブ
コメント

アンケート回答 (6/7)

設問9

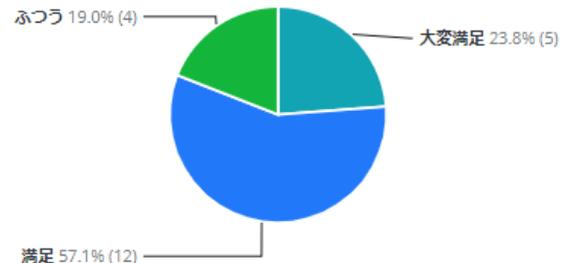
各観点での満足度について

■ ブロック報告について



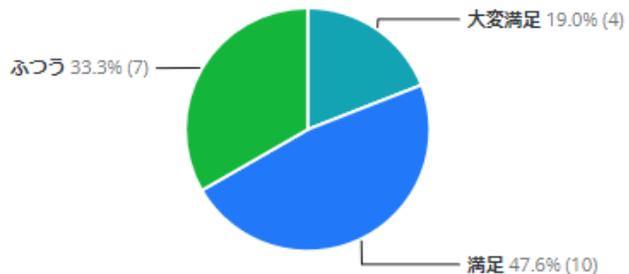
満足以上： 95.2%
やや不満以下： 0%

■ 論文発表について



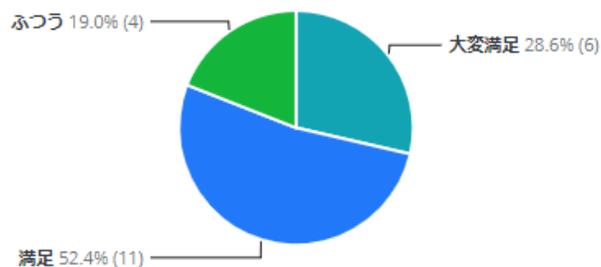
満足以上： 81.0%
やや不満以下： 0%

■ 時間配分について



満足以上： 66.7%
やや不満以下： 0%

■ 当日の運営について



満足以上： 81.0%
やや不満以下： 0%

■ 大変満足 ■ 満足 ■ ふつう ■ やや不満

アンケート回答 (7/7)

設問10

IS研についてのご意見・ご要望 (一部抜粋・省略)

■対面での参加者拡大

- 各大学との交流を深めるためにも、総会是对面を主体にした方がよい。
- 対面参加者が増えるように。
- 年度末の予算執行にも関係するので、開催形式などの案内をもう少し早く出してほしいです。

■その他

- 引き続き、リモート併用で開催していただきたい
- より柔軟に横の交流を展開して、いろいろな方式の交流を広げることが必要です。CS研などとの連携も引続き行うこと。
- 他大学のセキュリティ対策についてよく知りたい
- 長い間、大変、お世話になりました。(事務局註：前会長 大分大学 吉田先生より)



この資料は、IS研の資料です。

IS研・CS研会員の組織外および富士通グループ外への公開・配布はご遠慮ください。

国公立大学情報システム研究会 事務局

〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町1-5 JR川崎タワー
富士通Japan株式会社 教育ソリューションビジネス部内

ホームページ : <https://csis.ufinity.jp/isken>

E-mail : fj-isken-bureau@dl.jp.fujitsu.com